

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2021

5

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 4月誌上句会	21
川柳吟行会「ぼ」	30
十和田たてがみ川柳会3月句会報	27
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	20
Infomation	34～

## カンテラ

まぼろし

4月3日、新型コロナウイルスのクラスターが次々発生している青森市で久しぶりの例会句会を開催した。

会場はいつもの青森駅前「アウガ」5階小会議室。13名がマスクをして集まり、イス1つ置きに着席。

会員が集まっていたの句会は去年の2月以来、実に1年1カ月もの間ステイホーム誌上句会だった。

川柳は「座の文芸」、句会はやつぱり仲間が集まって顔を見ながらがいい。

ということですが、今年の川柳ステーションは中止です。ですのでよろしく願います。

コロナウイルスよ鎮まりたまえ。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

## A群

春だ春ですクロッカスですす八十路です	吉田州花
本年もお世話しますと娘の年賀	村上てる
肩書きを脱いたら楽になれますか	城後朱美
母の中の鬼が突然顔を出す	村上あつこ
春だもの一つくらいはドア開ける	村井規子
五線譜にのせる胎動のリズム	土田雅子
思いつきが僕の身体で自爆テロ	芝岡かんえもん
恥を知るたびにオトコは鶴を折る	瀧尻善英
脱皮して今夜も続く不眠症	ひとは
売り尽くしセールに月も並んでた	柳谷たかお
住宅の空まで被害及んでる	鳴海賢治
煩惱の数と指ぬきのブツブツ	夏草ふぶき
この星のエイリアンとは長い仲	安藤なみ

いつしか病葉骨密度も落ちた

ききぎ彼句吾

打ち解けてはくれぬ人見知りな取っ手

熊谷冬鼓

熊谷冬鼓さん、広辞苑の「取っ手」の語釈に「ドアの」という例がありますが、この「取っ手」もドアノブですか？ドアノブだとすれば、どこか訪問先のドアですか？まさか、自宅玄関のドアじゃないでしょうね。いろんなものがあるこの世だから川柳に「人見知りな取っ手」が登場しても一向に構いませんね(笑)

## B群

ドアノブが口止め料を言い立てる	葉 閑女
焼きたての笑いあつてるパンの耳	ひとり静
袋小路ラジオ体操してしまふ	まきこ
逃げ道で拾った似合わない帽子	須藤しんのすけ
枝折れの耐えたものたち顔上げよ	吉見恵子
本日は水平線もAマイナー	米山明日歌
てんばっているのか牝鶏の叫び	石橋芳山
春なんだけど雪まみれ姉まみれ	守田啓子

## C群

三浦蒼鬼さん、「緊急の連絡」って蒼鬼さんがどこかに連絡してるの？たぶん、電話で連絡してると思うんだけど、ジャージャー「水の音」がするって大変じゃないですか。「緊急の連絡先」はたいてい2カ所書くことになつてはいますからもう一つの方へ連絡してみてもどうですか？あれ？そんな問題じゃない？

テレビ会議へ黒酢を回し掛けましょう	岩根彰子
御茶の間を絞ると白夜の腐敗臭	小野五郎
電球の中を飛んでる蠅男	田久保亜蘭
ABCD ●✕老人	奈良一艘

岩根彰子さんが「テレビ会議」と書いたのに、私は「ウェブ会議」と勘違いしました。おかしようき川柳社がズームというツールを使っていわゆるリモート会議をしてい



るので間違ったのです(汗)「テレビ会議」はパソコンやスマホを使った「ウェブ会議」より大掛かり。で、彰子さんはそんな「テレビ会議」に「黒酢」を掛けようとしている。「黒酢」は、長期間発酵・熟成させて作りアミノ酸が豊富で健康にいいらしい。テレビ会議って不健康そうだから黒酢がいいかも。生き生きしちゃうたりしてね。

小野五郎さん、「御茶の間を絞る」だなんて相変わらずのパワープレイですね。私にはできませんが、それをする「白夜の腐敗臭」というものが必ず発生するのですか? 「白夜」は、「北極または南極に近い地方で、夏、日没から日の出までの間、散乱する太陽光のために薄明を呈すること。また、夏至の頃の日が沈まない夜。」と広辞苑に出ています。そんな「白夜」の「腐敗臭」ってどんな臭いなのでしょう。今まで嗅いだことのない異様な臭いがしたら五郎さんを疑ってしまうかも…。

田久保亜蘭さん、「蠅男」という言葉を生まれて初めて聞きました。「はえおとこ」と読むんでしょ? 川柳の世界では、普通、この句の「蠅男」みたいに句の中に登場するものは作者のことなんだけど、これもそうなの? 亜蘭

さんて「電球の中を飛ぶ」ことができたのですか…(汗) どうやって電球に入るんだろ。ミスターリックより凄いや。あまり長く電球に入っていると「焦げ亜蘭」ができちゃうから気をつけてね!

奈良一艘さん、これって超難解句ですよ。これまで最強じゃない? 先日、おなじょうき句会の川柳ラボで「記号を使った句」を取り上げましたが、その続きですか? 読み方は「エービーシーディー まるバツ老人」でいいのかな。「○」でなく「●」になつてるところがクセモノだね。「✖」も異常に太いフォントを使っていて何か意味がありそう。でさ、「ABCD」は単純に「英語」と受け取ることにして…、1字空けて「●✖老人」ねえ。ネットをググったら「高齢者向け脳トレ常識問題マルバツクイズ」ってのがヒットしたけど関係ありますか? もしかしたら一艘さん、英語の脳トレやってる? ま、そういうことにおきましようか…(汗)

おなじょうき川柳社会員雑詠集

# 無人駅

★無人駅4月月間賞

月曜の薄切り誰のオーダーだ

石橋 芳山

### ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

春の雷おこげご飯は過渡期です  
春めいて小骨の折れるお詫び状  
ごめんねの瓶詰開ける春の雨  
誰に言うわけじゃないけど樹木希林  
焼きたての笑いあつてるパンの耳

先月号のお気に入り  
なんだかなあ道頓堀に絆創膏  
「道頓堀の雨に別れて以来なり」のことでしょうか。安井  
道頓も絆創膏が似合う気がする。  
岩根彰子

### ひとは【ひとは・青森県黒石市】

脱皮して今夜も続く不眠症  
陽当りの場所で善人ぶってます  
柿の種辛くないのは罰ゲーム  
ジャンケンのあいこ続く日曜日  
たらればを酒の肴にする夜更け

先月号のお気に入り

### まきどり【まきどり・青森県青森市】

窓開ける慎みポイと捨てておく  
ゴスペルを歌う隣のところでん  
無言劇戸棚の奥で増殖中  
桜満開マスク美人のお通りだ  
袋小路ラジオ体操してしまふ

先月号のお気に入り  
雪の日は雪を味わい暮らしてる  
そんな暮らしぶり大好きです。  
辻井洋子

### まみどり【まみどり・青森県黒石市】

順番に口を広げてあえいいうお  
段階の途中であきらめぬように  
ようやくの緑に軽い妬心など  
ちりぬるを雪解け水の音を聞く  
立ち向かう気力となだれゆく思考

先月号のお気に入り  
「おじゃまします」津軽海峡越えました 四ツ屋いずみ  
越えちゃいましたか・ならば心ゆくまでごゆるりと。

### 三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

曲がりなりにも長男の穴掘っている  
干涸びた貌が鏡の裏にある  
念仏の途中で探す非常口  
緊急の連絡先の水の音  
合の手を入れると変異株になる

先月号のお気に入り  
痛くない形に曲げてみる明日  
痛いのは生きている証なのだが、やはり楽しいほうがいいですね。  
米山明日歌

### 宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

DELEキーのあと無印の白い皿  
からすみ入りサラダがどうかしましたか  
軽いねえと仲間はずれの春キャベツ  
片づけをするとき柳生新陰流  
Aマイナーね淋しいと言えるなら

先月号のお気に入り  
立ち読みで終わったことにする真昼 米山明日歌  
それでなくてもすぐ夕方になって困っているのですが。

### 村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

春だもの一つくらいはドア開ける  
坂道が生きろ生きろと呼ぶのです  
白髪染めする前に来た好きな人  
借りられる事もない膝まだ根雪  
五十歳どう楽しもう二十年

先月号のお気に入り

### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

低燃費で溜まり続ける皮下脂肪  
母の中の鬼が突然顔を出す  
泥沼に落ちて静かになったゾウ  
飲み忘れの葉溜まって呆けていく  
本当に怖い話はこれからよ

先月号のお気に入り  
まとわりつくものあってどこにか立っている 守田啓子  
よくわかります。私も何もなければ立っていられないと思えます。

### 村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

本年もお世話しますと娘の年賀  
平凡と言う傘寿の椅子に座ってる  
聞き上手相槌うつのも上手です  
背にカイロ膝にサポーターさあ散歩  
老いてゆくスタイリッシュエイジングで

先月号のお気に入り  
支えてるものあり支えられている  
土田雅子  
同感です私も毎日この気持ちで過しております

### 守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

吹き出物潰して過ぎてゆく時間  
ひんやりと桜 姉とは月の距離  
五月つてなんか転がしにくくつて  
春なんだけど雪まみれ姉まみれ  
姉はまだ私の中に棲んでいる

先月号のお気に入り  
ここいらで迷えるだけ迷ってみる  
吉田吹喜  
迷える六十代。私も迷ってます。

### 葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

呼び鈴が鳴れば弾ける鳩サブレ  
出窓からタンゴにワルツぎつくぎく  
キューピーと五月の空を泳ごうか  
花よりもワインが似合う部屋にする  
ドアノブが口止め料を言い立てる

先月号のお気に入り  
毒を盛るそりやあ女の特権で  
夏草ふぶき  
毒舌なら私も持つてますよ〜

### 吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

帳尻を合わせ私がいなくなる  
阿婆擦は董だったかなかったか  
濃やかに粉引く水車にこの先は  
春だ春ですクロッカスです八十路です  
忘れればなかったことに雪ながら

先月号のお気に入り  
蟹気楼を同封いたします。友よ  
奈良一艘  
そんな頼りないものを送っても。速達にしましたか

### 柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

猫の鈴はずしてやろう春浅し  
隣町まで春を迎えにいこう  
春爛漫プラス思考の花の中  
アールグレイ春の余白をうめている  
げんまんしました君の森と僕は

先月号のお気に入り  
生きていくつもりこの先カーブです  
柳谷たかお  
減速してカーブへ、いはいえアクセル踏んでまがっていきましよう

### 柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

球体になるまで転がってみます  
売り尽くしセールに月も並んでた  
虹が出たふもとへ宝物埋める  
限定品今日を今日として生きる  
停止できるかな問もなく踏切で

先月号のお気に入り  
マスク三枚重ねて本能寺へ  
守田啓子  
呼吸不全で到着できそつにないのがいい

### 吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

結局何だった？生徒手帳つて  
展望が欲しいアタシも女だね  
じんましんの完治 スウィングする風  
ペタペタと腰をおろして 抹茶味  
わたくしは拗ねておりますクレラップ

先月号のお気に入り  
五回生まれ変わっても君が怖い  
田久保亜蘭  
君って 誰だよ答えによっちゃ しばいちゃいますよ。

### 吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

長かった冬 青空へ溶けてゆく  
枝折れの耐えたものたち顔上げよ  
危うきは見えないものの骨密度  
雪解けの渴きを知らぬ地に生きて  
再生の音もなく降る春の雨

先月号のお気に入り

## 四ツ屋いずみ

【よつやいずみ・北海道札幌市】

瞬きの間に一月二月三月  
秒針と鼓動の響くサナギです  
へんなダンス踊りたくなるリモートワーク  
鯨のくしゃみでばれる囃捜査  
芽吹きますウーバー、ウォルト、パンダ 春

先月号の  
お気に入り

空真つ赤ベルシャの姫をふと思う ひとり静  
美しい横顔のベルシャの姫とアラブ音楽が聞こえてきそ  
うです

## 米山明日歌

【よねやますか・静岡県長泉町】

本日は水平線もAマイナー  
肉球はあの日の夜のまま丸い  
兆し持つ昏いところのその指紋  
不覚にも昨日に箸をおいてきた  
待つてます時代遅れの眉のまま

先月号の  
お気に入り

手に残るセロリの匂い訃報欄 熊谷冬鼓  
訃報欄にセロリの匂いを持ってきたのが。見事。

## 石橋芳山

【いしばしほうざん・鳥根県松江市】

何人を葬り行列をただす  
撒き散らす老害走り抜けた馬  
てんばつているのか牝鶏の叫び  
とんこつに滲みて午後からのうたた寝  
まさぐつてみても鎖骨が見当たらず

先月号の  
お気に入り

## 岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

お勝手の明かりは不定愁訴です  
副反応だった四角関係だった  
テレビ会議へ黒酢を回し掛けましょう  
寄つといでツナ缶、酸茎、柿ピー、踵  
差し水はことわる3分放つといて

先月号の  
お気に入り

存分にたたかう右腕左足 まみどり  
存分と言う響きが心地よい。

## 渡邊こあき

【わたなべこあき・青森県青森市】

毎日を記念日にして飲むワイン  
カフェラテの泡にふんわり癒される  
反論がひつかかっているラムネ玉  
酒を酌む糸を切るとき解すとき  
空しさのげつぷサービスドリンクのあと

先月号の  
お気に入り

干からびた牛蒡忘れていませんか 熊谷冬鼓  
あつ、牛蒡忘れてた！私も干からびた牛蒡になりそうです。

## 安藤なみ

【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

別れにも想い出というあたたかき  
女とは思えぬなどと誉め言葉  
六十分飲み放題はやるせない  
この星のエイリアンとは長い仲  
沈黙の春セガールは何処に居る

先月号の  
お気に入り

攻めににくい低姿勢だな笑顔だな 斎藤泰子  
瀬戸の星、藤井一冠が浮かびました！

## 上村夢香

【うえむらゆめか・山口県岩国市】

新しい時計とともに捲る春  
深読みをし過ぎてするり風の音  
ほほえみにもう返せない親の恩  
句読点なしひらがなメール六歳児  
ルージユなしマスクは今日も外せない

先月号の  
お気に入り

誘惑の風が吹いたら逢いに行く 柳本恵子  
コロナ禍の中、お誘いの便りは全くありません。お花見  
の季節、逢いたいお方からの便りを待つばかりです。

## 小野五郎

【おのごろう・青森県青森市】

二心抱いて湖畔に立つ乙女  
非常口逃げる男に宛てがない  
御茶の間を絞ると白夜の腐敗臭  
焼け跡に十九の時の水溜まり  
藁の匂いに包まれて眠り姫

先月号の  
お気に入り



### きさらぎ彼句吾

〔きさらぎあくあ・青森県弘前市〕

いつしか病葉骨密度も落ちた  
火も水も落ちきりそうだ女偏  
デュエットの途中で逝つたらくでなし  
ほやほやの改札抜けて羽化しよか  
病葉の股関節から虎落笛

先月号のお気に入り  
添い寝ならワインレッドになさいませ  
はい、そういたします。  
吉松澄子

### 熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

溜め息をしつかり声に出して吐く  
打ち解けてはくれぬ人見知りな取っ手  
残量の足りないままに続編へ  
植物性タンパク質なバスタオル  
軟らかでいようとしては蹴躓く

先月号のお気に入り  
マスク三枚重ねて本能寺へ  
変異株の拡大も怖いし外出は覚悟がいる。本能寺が絶妙。  
守田啓子

### 木村美映

〔きむらびえい・青森県青森市〕

竹筒を噛みしめ耐えている怒り  
絆とか寄り添うだとかうつせえな  
同情は誰でもできる人殺し  
地震寒波コロナにネットは内戦か  
今日もまた人身事故で遅れます

先月号のお気に入り  
雪はきらいビールが飲みたいただそれだけ  
全くもってその通りですね。  
笹田隆志

### 斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

自粛明け蛇も私も穴を出る  
結論を先に話した方が負け  
だから今黙ってみてるだけに  
限りある命に揺らぐ春の影  
だとしても虹は消えるし人は逝く

先月号のお気に入り  
戸籍売りますご飯が食べたい  
これは・・・痛い・・・  
笹田隆志

### 笹田隆志

〔ささただたかし・青森県青森市〕

爛漫を呑みつくしたら春が来る  
人生をやり直すなら蚤に訊け  
兄の足引つ張り過ぎて地獄まで  
満天の星屑ひろう今のボク  
明日やろう心の襷の大掃除

先月号のお気に入り

### 城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

退職間近野球部の声響く  
肩書きを脱いだら楽になれますか  
さよならの挨拶険しくなり  
後任が決まりざわざわ眠れない  
来年の卒業式にまた会える

先月号のお気に入り

### 芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

黄昏の紙飛行機は帰還せず  
しあわせに鳴るのはやめたクラッカー  
用心深く甘噛みしてる春である  
思い出が僕の身体で自爆テロ  
もう一度色を違えて咲いてみる

先月号のお気に入り  
銀座から馬一頭を連れ戻す  
銀座にたもろっていた馬はみんな家に帰りました。わたしも私の友人も。コロナに連れ戻されたのです。  
田久保亜蘭

### 須藤しんのすけ

〔すとうしんのすけ・青森県弘前市〕

間違えた夏がそろそろやって来る  
ゴーストに書かせる自分史の黄色  
ティーカップ摘んで片眉を上げて  
逃げ道で拾った似合わない帽子  
飛んだのは絵本の鳥同じ空

先月号のお気に入り  
これよりは弔詞「惑星」第4曲ジュビター  
ちゃんと別の世界へ逝けそうで、メッチャくすぐつたい  
(笑)  
奈良一艘



瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

気づかれず寂しがり屋の卵とじ  
元カレのことは耳栓して防ぐ  
真ん中の辺りで生きたことがない  
滅入ったら赤いパンツで出かけよう  
恥を知るたびにオトコは鶴を折る

先月号の  
お気に入り

他人事のように聞いてたクラスタ― 村上あつこ  
もう他人事ではありません。明日、すぐ隣で起きるかも？  
怖い…。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

盗撮はバナナのように食べるべし  
それってさ生殺しとは言いません  
電球の中を飛んでる蠅男  
洞察はあつたレモンの仮出所  
あきまへん あきまへん いぎ座禪草

先月号の  
お気に入り

旅男【たびお・青森県五所川原市】

頬被り風の噂の春一番  
風伝のムンクの叫び垂れ流し  
パレードの時代錯誤がチイパツパ  
ステイホーム混ぜっ返してもんじや焼き  
なごり雪おめがあずましウツヒツヒ

先月号の  
お気に入り

手に残るセロリの匂い訃報欄 熊谷冬鼓  
セロリは嫌いですか？今、古本（仏壇のような）の匂い  
に悩んでいます。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

操縦席カーテン一枚鉛一個  
そうあれは花巻く新潟 空のバス  
プロペラが空の断層こじ開けた  
青空をめがけ子を抱きしめ いぎ  
思い出が夕陽の一線の彼方へ

先月号の  
お気に入り

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

未知数を乗せてオールは忙しい  
ワイン飲む練習カラスカアと鳴く  
見つからないひょうたん島へ行く舟が  
頭から足の先までティータイム  
燻ってる場合じゃないよいい天気

先月号の  
お気に入り

手袋の中では退屈な十指 熊谷冬鼓  
たまには退屈な時間も必要かと。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

幾重にも扉を開けて来る春だ  
牧歌的スタンスで吹くサクソフォン  
五線譜にのせる胎動のリズム  
産院に響く命の大合唱  
逢いに行くチューバの音色轟かせ

先月号の  
お気に入り

肌荒れしている専用駐車場 小野五郎  
毎度、五郎マジックにハマります。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

煩惱の数と指ぬきのブツブツ  
今日からはシジミになって砂を吐く  
波の音だけ書き込んだ日記帳  
お手紙が美味しすぎるとヤギになる  
線香のにおい焦げている私

先月号の  
お気に入り

人でなしのピンク羽織って会いに行く きさらぎ彼句吾  
人でなしのピンクってすごいなあ、私も羽織ってみたい  
です。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

じいさんて云うなゼイサンなんだから  
ABC D ●●老人  
コンニャクが魔界転生する話  
タワシはタワシわたしはわたし  
泣いてさえもらえないだろうサバ缶の蓋

先月号の  
お気に入り

太陽礼拝ポーズかかと起きる 四ツ屋いずみ  
朝ヨカ…ですか。尻のポーズなら出来そうです。うむ。



おかじょうき川柳社：誌上句会

# 0 番線

OKAJOKI ZERO LINE

課題と選者（2句詠・共選）

題：『一』

7/31 〆切

選者

榊 陽子 (兵庫県)

奈良一艘 (青森県)

## 投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

### 【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.html へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



### 【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

## 投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）※発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

## 賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

鳴海賢治「なるみけんじ・青森県つがる市」

引越しをするたび太りぎみである

吊橋のむこう今きた道がある

前半はけちよけちよ 後半はぐちよぐちよ

体重を下げる 免疫力上げる

住宅の空まで被害及んでる

先月号の  
お気に入り

「おじゃまします」津軽海峡超えました 四ッ屋いずみ  
インパクトを感じました。

むさし「むさし・青森県蓬田村」

ウィルスをコピーしたのは誰ですか

味のないギョウザみたいな鼻ですね

象の子がキリンの首を見つめてる

活断層をつつきたがつている踵

死ぬまでかかるセリフをずっと読んでいる

読賣新聞

川柳作品をお待ちしております。

## ■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係  
ハガキ：〒030-0801 青森市新町 2-2-4 新町二丁目ビル6階  
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈

# 深艘心理

何もかもそぎ落とされて絵文字 村井規子

(会員雑誌集無人駅3月号)

「手と足をもいだ丸太にしてかへし」というプロレタリア川柳作家、鶴彬の句が思い浮かぶ。しかし掲句のそぎ落とされてしまったものとは勿論ツルアキラの句のような戦争で失った肉体的部分などではない。今までは普通だったマスクなしでの人との会話や握手やハグなどを含む精神的、肉体的な触れ合いの場が失われたという事なのだろう。

パンデミックと言っても差し支えない今日のコロナ禍の中では、自身にも相手にも迷惑のからぬように、直接会っての会話や飲食の場は遠慮せざるを得ない。特に辛いのは「座の文芸」と言われている短詩系文芸の例会や大会の場がほとんど中止になっている現状であろう

か。投句句会にしたり、SNS上での討論、或いはテレビ電話での句会などしか対処ができないのは誠に味気なくてつまらない事この上ない。

私事ではあるが、先日古くからの友人がコロナに感染し亡くなった。ご遺体は隔離され戦場で戦死した遺体を覆うナイロン袋のようなものにすっぽり包まれ納棺されていて、家族もご遺体に面会すら叶わずそのまま火葬されたという悲惨な話を聞いた。

まるでSF映画のような出来事が今まさに現実の世界で起きているのだ。

掲句の絵文字はきつとわんわんと号泣している絵文字に違いない。

4月3日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(13名)

奈良一艘・熊谷冬鼓・木村美映・笹田隆志・渡邊こあき・須藤しんのすけ・葉閑女・野沢省悟・夏草ふぶき・守田啓子・むさし・Sin・土田雅子

▼投句者(21名)

岩根彰子・宮井いずみ・芝岡かんえもん・柳本恵子・鳴海賢治・米山明日歌・安藤なみ・吉田吹喜・村上あつこ・上村夢香・郷田みや・斎藤泰子・田久保亜蘭・坂本清乃・旅男・きさらぎ彼吾吾・まきこ・ひとは・石橋芳山・まみどり・田中薫

おかじょうき川柳社 4月例会

# 席題『水』

青森県弘前市 奈良一艘選

## 【佳作】

ばふばふと降る雨をまだ眺めてる  
須藤しんのすけ

最初はグー負けてばかりの水すまし  
熊谷冬鼓

本物の自分を時々洗います  
夏草ふぶき

あちこちにリカちゃんがいる水族館  
葉 閑女

葬式を曳航する吃水線  
笹田隆志

お婆さんの川へ原子炉どんぶらこ  
むさし

差し水をされて白状してしまふ  
熊谷冬鼓

真夜中に疼いて騒ぐ水溜り  
笹田隆志

津浪になるか酒になるかと迷っている  
野沢省悟

漏水の場所は18歳の9月  
S i n

落ち椿水平線を知ったから  
熊谷冬鼓

水没のスマホよ父の四回忌  
土田雅子

何にしがみついてアルコール消毒など  
S i n

濁流のまんまで帰宅してしまふ  
むさし

水鏡失くしたものと得たものと  
葉 閑女

【秀逸】  
密を避けなさい 微炭酸なら飲みなさい  
守田啓子

職務質問です水掻きありますか  
むさし

桜蕊降る頃 真水になる頃  
守田啓子

【特選】  
鍵職人は水脈を抱いて寝る  
土田雅子

『出てくるワードがすべてロマンですね。』

# 席題『水』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

## 【佳作】

春の水静かに流れ墓仕舞う  
守田啓子

水色に染める右手と何かの巢  
須藤しんのすけ

背水の陣に浴びせる文春砲  
木村美映

あちこちにリカちゃんがいる水族館  
葉 閑女

本物の自分を時々洗います  
夏草ふぶき

消火栓の赤を指標に生きている  
土田雅子

水鏡失くしたものと得たものと  
葉 閑女

葬式を曳航する吃水線  
笹田隆志

水心あてにしている魚座です  
木村美映

S i n

熊谷冬鼓

土田雅子

S i n

むさし

葉 閑女

守田啓子

むさし

守田啓子

土田雅子

むさし

熊谷冬鼓

笹田隆志

野沢省悟

お婆さんの川へ原子炉どんぶらこ  
むさし

冷水を浴びせられてるスタートライン  
渡邊こあき

鍵職人は水脈を抱いて寝る  
土田雅子

濁流のまんまで帰宅してしまふ  
むさし

桜蕊降る頃 真水になる頃  
守田啓子

何にしがみついてアルコール消毒など  
S i n

【秀逸】  
漏水の場所は18歳の9月  
S i n

密を避けなさい 微炭酸なら飲みなさい  
守田啓子

泣く支度できたらお呼びいたします  
奈良一艘

【特選】  
職務質問です水掻きありますか  
むさし

『思わず「葉なんてやってません」と応えそつ。』



# 宿題『荷』

青森県外ヶ浜町 S i n 選

## 【佳作】

重荷だとわかっていても擬卵抱く  
お荷物になる前に行く屠畜場  
助けたカメが持つていたはずの荷物  
積み荷から初代ボンドの音がする  
なまはげが十人軽トラの荷台  
ローマ字で書くと漢字になる荷物  
船虫で底荷でワカメちゃんカット  
人間不信ガリガリ囓る薄荷飴  
荷をほどくシューつと時の音がする  
荷崩れが静かに続く前頭葉  
雲になりたくて降ろす人偏女偏  
イケメンであるため醤油薄口に  
着払いで送った影を戻される  
カバンには歯形のついた春がいる  
本日は晴天につき永井荷風

夏草ふぶき  
木村美映  
柳本恵子  
郷田みや  
宮井いずみ  
田久保亜蘭  
岩根彰子  
ひとは  
芝岡かんえもん  
むさし  
きさらぎ彼句吾  
野沢省悟  
むさし  
芝岡かんえもん  
奈良一艘

家康の背中に飲ますりポピタン

ラスト5秒 ロッカーの鍵渡される

さくらさくら手荷物ふたつ捨てました

夫婦別姓かさぶたは剥げぬまま

断捨離のできない母の稲荷寿司

## 【五客】

空っぽの荷台なんだ62

春という荷物届いて狂いそう

祭り終え稲荷神社の獣臭

親指に結ぶ殺意の無い荷札

真っ直ぐが入荷しましたたつた今

## 【人位】

手荷物検査ぬげ致死量のことば

## 【地位】

痒いのでまだ荷物ではありません

## 【天位】

くさかんむりとなら何とかなるでしょう

『くさかんむりとならもうこっちの  
んです。』

野沢省悟

吉田吹喜

まきこ

土田雅子

笹田隆志

吉田吹喜

ひとは

米山明日歌

須藤しんのすけ

郷田みや

宮井いずみ

守田啓子

守田啓子

守田啓子

守田啓子

守田啓子

守田啓子

# 宿題『匂い』

青森県青森市 野沢省悟選

## 【佳作】

香水が凶器にもなるバスの中  
焼肉の匂いが逃げ道を塞ぐ  
石鹸の匂いに飽きたキューピッド  
樟脳の匂いで隠す亡母の影  
ノンアルは酒の匂い知らぬまま  
マンサクが説明クサク咲くのです  
モモ匂う卑弥呼の腋臭らしいけど  
万歳のあとにほのかな負の匂い  
男ひとり薪の匂いをさせてくる  
束ねると匂わなくなる赤い薔薇  
懐かしいソメイヨシノの加齢臭  
におわない女と匂わないカレー  
体臭は雪だとおもう青い鎖骨  
おむつからテロの匂いが洩れてくる  
問題なのは匂わないフリージア

村上あつこ  
石橋芳山  
吉田吹喜  
ひとは  
安藤なみ  
守田啓子  
石橋芳山  
まきこ  
斎藤泰子  
夏草ふぶき  
S i n  
田久保亜蘭  
奈良一艘  
むさし  
土田雅子

老人になりきれません生乾き

言霊に匂い嗅がせぼつち旅をする

今日はカレーで虐待は無さそうで

上品になれなれしくも匂う蕎麦

まとも買いしたので匂いわからない

## 【五客】

雨上がるマチスの青が匂い立つ

ジグザグに歩いて探すアの匂い

明朝体の香りを纏い立ち上がる

梅香る。ミサイル2発飛んで来る。

柔軟剤の匂い余計なお世話です

## 【人位】

のり弁の匂い萌黄色の話

## 【地位】

丸呑みをしています お気になさらずに

## 【天位】

羊水がどんな匂いだった 十指に聞く

『羊水とは人の原点、そこからの発想で  
誰でも知りたい匂いである。』

渡邊こあき

田中薫

S i n

石橋芳山

鳴海賢治

葉 閑女

郷田みや

むさし

むさし

熊谷冬鼓

守田啓子

守田啓子

まみどり

まみどり

まみどり

まみどり

田中 薫

# 宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

## 【佳作】

続きまして「浦島太郎のエチュード」  
 S i n  
 メラトニンに誘われて春を孕んでしまう  
 守田啓子  
 ミスジャッジしたところから語りだす  
 柳本恵子  
 病んでいる空と長めのならめっこ  
 S i n  
 深爪で見ている空に星がない  
 米山明日歌  
 震度6で内乱起こすシクラメン  
 笹田隆志  
 くずし字になるまでぎゅつと抱きしめて  
 きさらぎ彼句吾  
 そのけそこのけと歩いてくる鳩  
 安藤なみ  
 髪ほどく明日の空を飛ぶ準備  
 須藤しんのすけ  
 どん底を蹴って静かに浮上する  
 ま き こ  
 理性では押さえきれないソーダ水  
 きさらぎ彼句吾  
 傷ついた春の骸を干している  
 芝岡かんえもん  
 化けた数だけ捨てて芯だけになった  
 田中 薫  
 いい加減腹をくくれと昼の月  
 土田雅子  
 お値段で変えます語尾の伸ばしかた  
 まみどり

## 十和田たてがみ川柳会三月句会

【参加者】漆館ミノリ・木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳  
 【投句者】磯島雅男・城後朱美

### ■席題『ラスト』

高田 幸柳 選

#### 【平抜き】

介護する人の身になり介護され  
 漆館ミノリ  
 「第三の男」に残るラストシーン  
 佐藤まさあき  
 終章にどんな日記を書けますか  
 斉藤 蛙井  
 ランナーがラストスパートギアチェンジ  
 福田 芳記  
 あわてないラストは私の指定席  
 斉藤 蛙井  
 二浪生今年が最後と覚悟決め  
 福田 芳記  
 走馬灯背負い私のラストラン  
 村上 昌子  
 サンキューと言ってラストを迎えたい  
 瀧尻 善英  
 ラストでもいいオレ流のマイペース  
 佐藤まさあき  
 【秀 逸】  
 百歳の葬儀百歳ばかりいる  
 瀧尻 善英

球根になるのが上手おじいさん  
 野沢省悟  
 「何もわからない」を必死に背負っている  
 S i n  
 底のない空から落ちてきた鯖煮  
 田久保亜蘭  
 人間のセロリ辺りを嗅ぐ女  
 芝岡かんえもん  
 致命傷だから助けはいりません  
 ま き こ

## 【五客】

自転車走ると今年が走りだす  
 旅 男  
 舌先で転がしている形容詞  
 石橋芳山  
 風花に触れてしまった子を宿す  
 田久保亜蘭  
 切りつける前に結論出さないと  
 まみどり  
 生ゴミと生ニンゲンとナニ違う  
 野沢省悟

## 【人位】

人恋し月をガブリと噛んでみる  
 奈良一艘

## 【地位】

阿蘇山を突けば富士山が笑う  
 石橋芳山

## 【天位】

腹ぺこで開けてしまった玉手箱  
 渡邊こあき

『そつです、みんな腹ぺこがいけないのです。』

一日の終わりどんどん早くなる  
 村上 昌子

おひらきは校歌で締める同期会  
 瀧尻 善英

### ■席題『フスト』

瀧尻 善英 選

#### 【平抜き】

余生から眺める世間味がある  
 斉藤 蛙井  
 最終を幸せの句で埋め尽くす  
 木村奈生美  
 走馬灯背負い私のラストラン  
 村上 昌子  
 ランナーのラストスパートギアチェンジ  
 福田 芳記  
 一日の終わりどんどん早くなる  
 村上 昌子  
 二浪生今年が最後と覚悟決め  
 福田 芳記  
 ラストでもいいオレ流のマイペース  
 佐藤まさあき  
 良い人になり耐え抜いているラスト  
 木村奈生美  
 ラストラン名馬を惜しむ競馬ファン  
 福田 芳記  
 【秀 逸】  
 終章はどんな日記を書けますか  
 斉藤 蛙井  
 「第三の男」に残るラストシーン  
 佐藤まさあき  
 【特 選】  
 復興をめざす聖火のラストラン  
 高田 幸柳

■宿題 『落語』

村上 昌子 選

【平抜き】

未来形語る落語の優しい眼  
いつの間に孫が「寿限無」を諳んじる

木村奈生美  
佐藤まさあき

落語家の妻ですパートに手内職  
前座でもソバ喰う様は彩がある  
座布団を取られ大喜利笑い取る  
笑点の時間は空気がさえ笑う

城後 朱美  
斉藤 蛙井  
瀧尻 善英

煩惱を整えるため聴く落語

磯島 雅男

オラの家笑顔が絶えず寄席のよう

高田 幸柳

外人がオチのところで大笑い

漆館ミノリ

スマホで子孫に隠居は日々まなび

漆館ミノリ

雪解けを待たず寿限無が目覚ます

高田 幸柳

噺家は扇子と手拭いあれば良い

佐藤まさあき

【秀逸】

コロナ禍で長屋の花見どうなるか

斉藤 蛙井

説教へ落語が好きでオチを付け

瀧尻 善英

【特選】

与太郎のつどいの様なババ友は

漆館ミノリ

■宿題 『ランク』

斉藤 蛙井 選

【平抜き】

ミスコンにマスク美人がランクイン  
番付表虫メガネで見る序の口さん  
お見合いの写真履歴でランク付け  
ジェンダーの平等並みに乗り遅れ  
ランキング観る人間の脆さまで  
2ランク上をめざして今がある  
ランク付け好きな女の厳しい眼  
晩酌はランクを下げて発泡酒  
努力家にランクアップの明日がある  
我が家では右肩上がりの女性地位  
ツートランク下げて見合いの席にいる  
ワンランク出来たうれしい日本晴れ  
等級の高さを越えた荒れた素手

高田 幸柳  
福田 芳記  
高田 幸柳

お見合いの写真履歴でランク付け

高田 幸柳

ジェンダーの平等並みに乗り遅れ

村上 昌子

ランキング観る人間の脆さまで

村上 昌子

2ランク上をめざして今がある

磯島 雅男

晩酌はランクを下げて発泡酒

高田 幸柳

努力家にランクアップの明日がある

瀧尻 善英

我が家では右肩上がりの女性地位

佐藤まさあき

ツートランク下げて見合いの席にいる

木村奈生美

ワンランク出来たうれしい日本晴れ

木村奈生美

等級の高さを越えた荒れた素手

木村奈生美

【秀逸】

二番手で二番の苦惱知っている

瀧尻 善英

好きな本壺井栄にいやされて

漆館ミノリ

【特選】

昇進を捨てれば軽く飛べそうだ

村上 昌子

■互選 『ゆったり』

①わくわくと夜毎ラジオの夢枕

村上 昌子

②玉音や警報出した戦時中

斉藤 蛙井

③玉音を再び聞くのがないことを

佐藤まさあき

④デジタルの機器に囲まれ聞くラジオ

斉藤 蛙井

⑤いきてゆく気力求めて聞くラジオ

木村奈生美

⑥ラジオ体操朝のリズムが動き出す

佐藤まさあき

⑦農作業共に汗する腰ラジオ

高田 幸柳

⑧故郷の風をラジオが連れてくる

高田 幸柳

⑨ラジオから貰う暮らしの知恵袋

木村奈生美

■十和田たてがみ川柳会5月例会案内

【時】5月22日(土) 午前10時から 【所】十和田労働  
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『ルーキー』村上昌子  
選／『流転』斉藤蛙井選 【互選】(二句詠)『龍』当日  
出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題(三  
句詠・共撰)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名  
【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21  
十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

「チャレンジ川柳！むさし流！」のブログはこちらから



ブログ「川柳チャレンジむさし流！」  
「むさし流！」は、川柳の魅力を伝えるためのブログです。最新の川柳作品や、川柳の歴史、創作のコツなどについて詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

# 川柳吟行会「ぽ」

## 課題『別』

あんなにあつた雪も、いつのまにか消え、大通りはコンクリートの道に。コロナ禍を縫つての合評会は、3月17日（水）出席者8名。投句参加者は18名、54句。それぞれの解釈に「なるほど」と思ったり、「それはちよつと」と思ったり。気がつけば、まな板にのせた句は30句。甘すぎる、素材は違う方が、盛り付けが悪いなどなど。さまざまに料理された句で、満腹の合評会となりました。（こあき）

【8点】特×3・佳×2

別れ話の視線の先のチューリップ いずみ

【州花】ポツと穴のあいた心から見えたチューリップ。こんな所にチューリップが。【こあき】チューリップで別れ話の辛さが軽くなりました。作者は話をするときにはもう別れを決めていたのです。【さち】別れを切り出す

【5点】特×1・佳×3

割り箸をバキッと割つてする話 ふぶき

【柳本恵子】バキッという音で覚悟の深さがわかりますね。長い腐れ縁をたちきるお話かと、、しばし口遊み、妄想中、、。【妙】喧嘩別れになつてでも、絶対別れてやるといった決意の句ですね。後戻りはしない潔さが好きです【文音】割り箸が食べる道具から会話の道具にもなる。面白い。【さち】思い切らないと出来ない話ですよ。

【5点】佳×5

別れつてよそ見してたらやつてくる こあき

【啓子】この軽さ。サイコーです。気を付けなくっちゃ。【規子】好きな人も幸せな時間も少し緊張感をもって向き合わないと過ぎてしまう。【旅男】まさに。「今度食事でも」とか言つてるうちに訃報が届く。【五郎】ユーモアたっぷり。真実味もある。【柳本恵子】別れの定義がまた増えました。

【4点】特×2

平日の夫婦別姓しようが味 妙

【しんのすけ】清涼でシャープな辛みが特徴のしようが。

れた方が心揺れて、窓辺のチューリップに目を留めたのか、別れ話を言い出した男性？に花（別の女性）が映っているのか、想像が拡がった。【五郎】ちよつとしたサスペンス。辛辣である。【冬鼓】チューリップの頃の別れなら又飛べるかも。心ここにあらず。

【7点】特×2・佳×3

別便で届く聞かずにすんだこと こあき

【妙】わざわざ教えてくれなくてもいいことつてあるますよね。別便というところがおせっかいなのか意地悪なのか気にかかります。【旅男】気を使つたんでしょうか。やがてはまわりまわつて届いたりします。キツチリ題が入つて、想像が広がるし、人間的で好きです。【州花】できれば見ずに聞かずにいたいと思う。【いずみ】ありますね。知りたくなかつたことをわざわざ教えてくれる人。【柳本恵子】別便つていう響きがいいですね。

性差別解消の一案、夫婦別姓。どちらも平日には良い刺激である。【冬鼓】共働き夫婦の多い昨今。普段の仕事に家庭をもちこまない。さて休日は何味だろうか。

【4点】特×1・佳×2

尾骶骨別れの曲をぶら下げて 五郎

【目見恵子】人間会えはいろんな形で別れもあるものだ。それを尾骶骨に別れの曲をぶら下げているという、独特な面白さで表現している。【啓子】口で言えない時はコシで・・・【ふぶき】尾骶骨にぶら下げるとは不安定でいつ落ちるかわからない。別れを弄んでいるようでおもしろいと思った。

巻き舌のかた別室に願います いずみ

【彰子】文句無く面白い。こちらの別室はさぞかし姦しい事でしょう。情景と熱気が迫つて来ます。【こあき】巻き舌の方とは一緒の部屋にいたくないですね。巻き舌が斬新でした。【ふぶき】巻き舌で話す人は反社なのか感情的なのか、どっちにしろ同室だと面倒になりそうだ。



飛んでとんで君の帽子は花野まで 吉見恵子

【夢香】 帽子だけでなく、愛しいお方も遠く離れてしまってもう逢うことはない・・・そんな切なさを感じています。

【紫の園】 君の帽子が思いっきり遠くの花野まで飛んでいく。夢とロマンにこちらも飛んで行く。【さち】 叙情が美しい。流されるギリギリかも知れないけど。

【3点】 特×1・佳×1

返信の間合いだんだん遠くなる 夢香

【文音】 返信は待ち遠しいものだった。そんなトキメキもだんだん遠くなった淋しさを感じる。気合を入れよう。【こあき】 そうして縁がきれっていくのです。

覚悟した瞳に最後の「また来るね」 冬鼓

【規子】 こんな場面は一日でも遅い事を願うが最愛の家族との別れについてしみりと考えさせられた。【吉見恵子】 死を覚悟した瞳にはどんな言葉も無力に違いないが、それをお互いに理解したうえで交わす最後の「また来るね」に切なさが伝わって来た。

春彼岸別誂えの花束よ 文音

【ふぶき】 誰のための花束だろう、別誂えの花束がドラマチックで印象的だった。【しんのすけ】 「別誂え」に大切な人への強い思いを感じる。

性別はチョンですかマルですか 文音

【五郎】 深い意味を感じさせる作り方。小気味よい飛躍。【彰子】 そうですね「チョンかマルで明日からの人生、天国、地獄に振り分けられますもの。」

別々の舟に乗る日はきつと晴れ さち

【啓子】 悲し過ぎる別れ方です。せめて天気も荒れて欲しい。【夢香】 最終的に別れを決断、すっきりした想い。

【2点】 特×1

ひとひらの矛盾の花弁散りました 旅男

【紫の園】 一つの矛盾がなくなり、その想いと表現の爽やかさがよかったです。

産まれた時から背骨が吹雪いてた 規子

ます。

ふくじゅそう咲いたよ さくら芽吹いたよ 冬鼓

【しんのすけ】 卒業、旅立ち、別れ…可愛い表現が切ない。てのひらは別れた日から凍えている さち

【文音】 別れた人にこの一句を伝えたいと思う句です。大浴場へ放つ患者という名前 彰子

【吉見恵子】 頭から離れない患者という名前も大浴場では解き放たれて、素直な独りの人間になれるという気持ちに共感できた。

色別の滲みにマツコデラックス いずみ

【州花】 誰と暮らそうが、それが男だろうが女だろうが。さよならで知らない人より遠くなる ふぶき

【冬鼓】 距離感他人より遠いが記憶は消えてくれない。その後も風に吹かれている卒塔婆 州花

【彰子】 その後が憎い表現。「も」にわかれても…措辞の卒塔婆に存在感ありを感じました。

【2点】 佳×2

いつの日かたつたひとりの赤とんぼ 吉見恵子

【紫の園】 いつかは一人になることを赤トンボとして、言い表したのは情緒があると思う。【妙】 零れ落ちるように別れが来る、淋しさがひたひたと感じられます。赤とんぼがダメ押ししてくれています。

【1点】 佳×1

あなた逝く枕の濡れぬ夜が続く 紫の園

【規子】 夫に先立たれてからが、女性はむしろ元氣。本件も別件もざわつく弥生 啓子

【いずみ】 三月のごたごた感の表現が見事。春の雨別紙に本音かいておく 吉見恵子

【夢香】 本音は隠し、努めて明るく装って・・・。分包になってしまった夫長男 州花

【旅男】 私の場合これです。お互いに年取ると近づいてき

■会費拝受【3月受付分】

田中なお・大西進（以上愛媛県）/ 米山明日歌（静岡県）/ さいとうみき（弘前市）/ 吉見恵子（青森市）  
/ 北野岸柳（外ヶ浜町）/ 漆館ミノリ（十和田市）/ 岩崎雪洲（黒石市）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社  
→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759  
〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆青森市も新型コロナウイルスの感染状況がなかなかひどくなってきているが、(映画館なら誰も飛沫は飛ばさないだろう)と自分に言い聞かせ、「るろうに剣心 最終章 the Final」を観にいった。シリーズとしては4作目なので、クオリティうぬぬでは驚きはしなかったが、相変わらず映画の熱量のようなものはスクリーン越しでも圧倒される。実写化が不可能と言われた、この「るろうに剣心」シリーズの監督が友啓史。大河ドラマ「龍馬伝」のチーフ演出を務めた人である。その監督の様々なインタビュー映像を今回、映画を観終わったあとに掘り返すように観たが、撮影の仕方が独特なようで、リハーサルが嫌いらしい(笑) 監督って、本番によく撮れるようにリハを何度も重ね、緻密な計算で本番に臨むようなイメージだったが、とにかく

動きの確認だけをして、本番を何度も何度も撮影するスタイルだそう。それによって引き出される表情や動きが欲しいらしい。そのため、カメラは何台も用意され、いろいろなアングルで同時撮影をしていく。アングルを変えて何度も同じ演技をするより、そのシーンの空気感、一体感を大事にしている。だから、良いと思えばNGシーンでも採用するという。限りのあるフィルム撮影ではなく、無限に撮影できるデジタル化がもたらした撮影方法と言える◆こと川柳においても、構図やアングルというものには非常に重要な要素だが、もしかしたら、その自分の思考のアングルというものを固定しすぎているのかもしれないと、考えさせられた。創作思考の多アングル化という考え方を今後取り入れていたら何か楽しそうな世界になりそうだ◆ Sin

□ 2021.05.31 〆 第63回「不浪人賞」/ 第51回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、連盟日より(結果)の個人送付希望者はその旨を明記のうえ百円切手を同封ください(不浪人賞・年度賞1位に呈賞)【対象作品】令和2年1～12月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可(2賞への同一句の応募は不可)【応募用紙】所定用紙(コピー可)またはA4の用紙を使用し、楷書で不浪人賞(3句)と年度賞(5句)を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。【締切】令和3年5月31日(当日消印有効)【発表】本賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。なお連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付致しますので応募の際は所属吟社記入のこと。【表彰】令和3年9月23日(祝)川柳忌黒石川柳大会にて(予定)。\*各賞1位に賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞」係【選者】★不浪人賞(6名) 渡辺梢(埼玉)・赤松ますみ(大阪)・鎌田京子(宮城)・新家完司(鳥取)・島田駱舟(千葉)・野沢省悟(青森)★年度賞(10名) 長谷川酔月(秋田)・熊谷岳朗(岩手)・雫石隆子(宮城)・山口まもる(山形)・小林左登流(福島) / 千島鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 Tel 080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

□ 2021.06.30 〆 第10回東北川柳文学大賞募集

東北川柳連盟(R3～4年度事務局青森県・理事長 高瀬霜石)は、東北川柳界の活性化と有力作家の発掘を目的に、第10回「東北川柳文学大賞」を開催いたします。【応募資格】東北6県の在住者(災害による避難先は可)【応募用紙】専用応募用紙(コピー可)またはA4版の原稿用紙に縦書き。その際冒頭にタイトル・未発表作品10句・郵便番号・住所・柳号(氏名)・電話・所属結社の順で明記。【投句料】1篇¥1,000(複数応募可)なお、応募時に大賞受賞者句集の購入予約(購入予約と添書きください。1冊¥1,200)をいただくと送料無料でします。【締切】2021年6月30日(消印有効)【選者】齊藤由紀子(東京)・芳賀博子(兵庫)・長谷川酔月(秋田)・熊谷岳朗(岩手)・小林左登流(福島)・山口まもる(山形)・雫石隆子(宮城)・高瀬霜石(青森)【賞】大賞～賞状、記念品、副賞として川柳句集の無料発行権と100冊を授与。【発表】2021年8月中旬予定(受賞者へ連絡)【表彰】第39回東北川柳連盟山形大会\*大会は9月～10月を予定しておりますが、コロナ禍のため詳しい日程は今のところ未定。また誌上句会となる可能性もありますので、その点ご理解くださるようお願いいたします。【応募先】〒038-3288 青森県つがる市木造出来島33 東北川柳連盟 東北川柳文学大賞 係【問合せ】東北連盟事務局 事務局長 濱山哲也 Tel 080-5574-9297 メール t-hamayama@k7.dion.ne.jp【主催】東北川柳連盟

# おかじょうき川柳社 作品募集案内

## □ 2021.05.12 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」5月句会

【投句締切】5月12日(第2水曜日)【題・投句数】「空」3句【投句先】  
toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句  
願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おか  
じょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

## □ 2021.05.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(7月号分)

【締切】5月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号から  
お好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】7/10発行  
号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>  
【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

## □ 2021.06.05 おかじょうき川柳社本社6月句会

【時】6月5日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】6月4日(金)  
15時【宿題】(各題3句詠)『根』/『眠る』/『自由詠』選者は当日の参加者  
より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「固有名詞を使っ  
た句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 【メー  
ルで直接送信投句】moriko@okajoki.com (守田啓子) ※投句、句会参加はおか  
じょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

## □ 2021.06.09 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」6月句会

【投句締切】6月9日(第2水曜日)【題・投句数】「樹」3句【投句先】  
toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句  
願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おか  
じょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

## □ 2021.07.03 おかじょうき川柳社本社7月句会

【時】7月3日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】7月2日(金)  
15時【宿題】(各題3句詠)『野』/『のぼる』/『自由詠』選者は当日の参加  
者より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「オノマトペを使っ  
た句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 【メー  
ルで直接送信投句】moriko@okajoki.com (守田啓子)

